

# C 知性・創造性

## 提言内容

豊かな発想力や創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善に関する提言

### 分科会の趣旨

近年、グローバル化、情報化、少子高齢化、技術革新等が進み、社会構造が急速に変化するとともに、個性や価値観の多様化が進んでいる。そのため、学校では、子どもたちが個性や価値の多様化を受容しつつ、多面的に考えられる豊かな発想力とそれを基に新しいものを創り出していく創造性を身に付けられるようにする必要がある。また、グローバル化が加速する未来社会の中では、異なる個性や価値を持つ他者と協働してよりよく生きていく態度の育成が求められている。

これまでも学校は、将来を担う子どもたちにバランスのとれた「生きる力」の育成を目指し、創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善に取り組んできた。今後さらに、基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、どのような変化にも対応できる豊かな発想力や創造性を育むことができるような教育課程の編成をし、その方針を地域社会と共有することが重要になってくる。校長は、確固たる教育理念のもと、教育の不易と流行を見極め、社会に開かれた創意ある教育課程の編成に向けて、PDCAサイクルの確立や地域等との連携・外部人材の活用などを含めたカリキュラム・マネジメントを進めていかなければならないと考える。

そこで、本分科会では、豊かな発想力や創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善について、具体的な方策を明らかにし、提言する。

### 分散会の視点

#### 第5分散会

#### 未来社会を拓いていくための学力を育む教育課程の工夫

急速な勢いで進展する社会の中で、子どもたちには、多様な人々と協働しながら、課題解決を図る豊かな発想力や創造性、しなやかな知性などを身に付けることが求められてくる。

それには、基礎的・基本的な知識や技能の習得や、未知の状況にも対応できる柔軟な思考力・判断力・表現力等の育成とともに、社会との連携・協働によって実現を図っていきける「社会に開かれた教育課程」の編成が重要になってくる。

本分散会では、このような視点に立ち、これからの社会を豊かに生きるための学力の育成を中核に据え、教育課程の編成・実施・評価・改善を推進する上での、校長の役割と指導性を究明する。

#### 第6分散会

#### 豊かな発想力や創造性を育む教育の推進

豊かな発想力や創造性を育む教育を推進するためには、各教科等の学習において、主体的・対話的に関わり、他の人と共に学び合い磨き合いながら、互いを高め合える子どもを育成していく必要がある。

それには、実社会や実生活に関わる課題に対して、これまで学んだ知識や技能を活用したり、教科横断的な学びや多様な体験活動の充実を図ったりすることができるような教育の推進が重要になってくる。

本分散会では、このような視点に立ち、教育課程の編成・実施・評価・改善を推進する上での、豊かな発想力や創造性の育成のあり方について協議を深め、校長の役割と指導性を究明する。